

授業科目 職業関連作業療法学・演習

【担当教員名】 貝淵正人・桐本光		対象学年	3	対象学科	作業
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】 職業リハビリテーションにおける作業療法の位置づけと意義・役割を理解し、障害者への具体的な訓練の方法を学習する 職業リハビリテーションの歴史や障害者の一般雇用などの基礎知識を習得する。 職業関連活動に関する評価法や技法を修得する 社会の中の障害者の現状を把握し、作業療法の役割や具体的な方法について学ぶ					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】 1. 職業の意義と職業的発達について説明できる 2. 障害者の就労についての状況と問題点を述べるができる 3. 職業に関して生活機能と障害、背景因子について整理し作業療法との関連を述べるができる 4. 標準化されている、職業関連の評価を施行できる 5. ICFを使用し就労支援への技法を施行できる					
回数	授業計画又は学習の主題	SBO			
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員		
1	人と職業。職業とは	1	講義 貝淵		
2	職業リハビリテーションの定義・概念・歴史	1	講義 貝淵		
3	障害者の就労の現状	2	講義 貝淵		
4	職業リハビリテーションにおける作業療法の役割	3	講義 貝淵		
5	職業に関する評価・職務分析	4	講義 貝淵		
6	職業リハビリテーションの関連法規と制度	2・3	講義 貝淵		
7	職業興味検査の実施とその解釈	4	講義 貝淵		
8	GATB評価の実施とその解釈	4	講義 貝淵		
9	内田クレベリン検査の実施とその解釈	4	講義 貝淵		
10	MODAPTSの実施とその解釈	4	講義 貝淵		
11	職業レディネスチェックリストの実施とその解釈	4	講義 貝淵		
12	シングルケース（ICF使用）にて就労支援の検討	5	講義 貝淵		
13			講義 桐本		
14			講義 桐本		
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書		職業リハビリテーション学 第2版	松為信雄編	協同医書出版	2006年 4200円
		標準作業療法学 社会生活行為学	田川義勝・濱口豊太	医学書院	2007年 4935円
参考書		職業関連活動	早川宏子	協同医書出版	1999年 2600円
その他の資料		プリント			
【評価方法】 出席、レポート、期末試験		【履修上の留意点】			